

人口と世帯	人口	33,957人	(58人増)
	男	17,347人	(38人増)
	女	16,610人	(20人増)
5月1日現在	世帯	12,917	(42世帯増)
()は前月比	外国人登録数	650人	



おまわりさん こんにちは

4月25日、町で初めての交番が開所しました。警察官の常駐とパトカーの配備、町内の7駐在所に加えて、町の目指す『安全・安心まちづくり』に心強い味方が増えました。

おもな内容

瑞穂町長 就任にあたって	2
平成16年度 予算の執行状況	4
ひと紹介 行政連絡委員 スポーツ広場・地区会館管理者	5
平成16年度「町長への手紙」内容を紹介します	6
みずほ伝言板 ごみの出し方再確認を 残堀川改修工事 ほか	8~9
福祉	10~12
インフォメーション	14~16
教育委員会からのお知らせ	17~19

美しい緑を大切にしながら 安心して住めるまちづくり

就任にあたって

瑞穂町長

石塚幸右衛門

このたびの選挙で町民の皆様のご信任をいただき、5月16日から2期目の町政をおあずかりすることになりました。

これまでの4年間は、町民の皆様や議員各位の絶大なるご理解、ご協力を得て数々の施策を実施することができました。改めて御礼申し上げます。

これからの4年間は健全財政を堅持しつつ、箱根ヶ崎駅東口の整備促進、市街化調整区域の下水道整備、土地区画整理事業などの都市基盤整備事業、元狭山コミュニティセンターの開設や長岡コミュニティセンター整備の具体化などコミュニティの拠点づくり、子ども家庭支援センター事業の推進をはじめとした子育て支援策、高齢者の社会活動を積極的に支援するシルバークラブの開設、異文化体験や外国人にもやさしいまちづくりを進める国際化施策など、まちづくりのあらゆる分野にわたり鋭意諸事業を進めてまいります。

「美しい緑を大切にしながら、安心して住めるまち」を町民の皆様と共につくり上げ、着実に次世代に引き継いでいきたいと決意しております。



再選後、初登庁する石塚町長

議会構成が決まりました

5月11日から
(敬称略)

議長

原 成兆

副議長

谷 四男美



◎総務常任委員会

委員長 吉岡 忠 副委員長 谷 四男美
委員 原 成兆・森 巨・福島 千恵子

◎産業建設常任委員会

委員長 島 英之 副委員長 高橋 征夫
委員 青山 晋・上野 勝・竹嶋 久雄
近藤 浩

◎厚生文教常任委員会

委員長 尾作 武夫 副委員長 小野 芳久
委員 小川 龍美・大坪 国広・小池 信一郎
小山 時夫

◎基地対策特別委員会

委員長 森 巨 副委員長 福島 千恵子

◎交通環境対策特別委員会

委員長 竹嶋 久雄 副委員長 近藤 浩

監査委員(議会選出)

上野 勝



行政改革 成果の

お知らせ

平成9年に瑞穂町第2次行政改革大綱（行政改革の方針を示した計画）を策定しました。これを基に、具体的な目標を定めた実施細目をⅠ・Ⅱと引き継ぎ、平成14年に実施細目Ⅲを策定して行政改革を進めています。

ここでは、平成16年度の成果と今後の取り組みをお知らせします。

問合せ
企画課
☎557-7486

行政改革の成果

実施細目 に掲載されていない行政改革への取り組みも含めて、平成16年度の節減額は、現在決算額を集計中ですが、約3000万円になると予測されます。また、平成17年度は、新制度の導入や各種事業の見直し等を進め、約1900万円の節減を目指します。

行政評価システムの推進

事業の必要性や成果を明らかにし、住民の皆さんの視点に立った施策や事業を展開し、まちづくりの成果を測定していく仕組みです。町では、平成16年度からこの仕組みを取り入れ、各事業の効果測定を基に事務改善や事業の見直しを図るとともに、予算配分の適正化や組織体制の検討を進めています。

行政改革は、経費の節減ばかりではなく、住民サービスの向上や行政と住民との協働が大きなテーマです。これからも皆さんの協力を得ながら、分かりやすい行政改革を進めていきます。

第3次行政改革大綱の策定

現在、第3次行政改革大綱の策定に向けて、8名の住民委員で構成する「瑞穂町行政改革推進委員会」に諮問し、今後の行政改革の方向性を協議していただいています。推進委員会では、7月の答申に向けて既に4回の協議を実施しています。町では、推進委員会からの答申を尊重し、大綱案を作成し「広報みずほ」およびホームページに掲載し、皆さんのご意見を伺います。

皆さんから頂いたご意見を踏まえ、10月に第3次大綱を決定する予定です。



▲瑞穂町行政改革推進委員会

平成16年度に取り組んだ

主な内容

◆報酬および委託料の見直し
医師に対する報酬の見直しにより、基本健康審査や予防接種などの受診料を引き下げることができました。

◆商業・商店街振興

都の補助金を活用したイベントの支援やPR地図の作成を行い、商店街の活性化や商業の振興に取り組みました。

◆融資あっせん制度の預託金の廃止

中小企業振興資金や水洗便所改造資金の融資に伴う、町の金融機関への預託金を廃止しました。この預託金の廃止による各融資利用者への影響はありません。

◆ごみの一部有料化・戸別収集による交付金の廃止

平成16年10月の戸別収集化に伴い、ごみの収集場所の管理に対する交付金を廃止しました。

平成17年度に取り組む

主な内容

◆雇用確保への取り組み
ハローワーク（公共職業安定所）を役場内に誘致し、町民の雇用の確保・安定を図ります。

◆委託制度の見直し

新たな制度である指定管理者制度を導入し、施設の管理運営経費の削減とサービス向上に取り組みます。

◆下水道受益者負担金一括納付報奨金の交付率の見直し

負担区の土地所有者が受益者負担金を一括で納付した場合の報奨金の交付率の引き下げを行います。

◆検診事業の見直し

がん検診や各種検診並びに基本健康審査の受診者の重複防止や検診対象者および検診方法の見直しを行います。

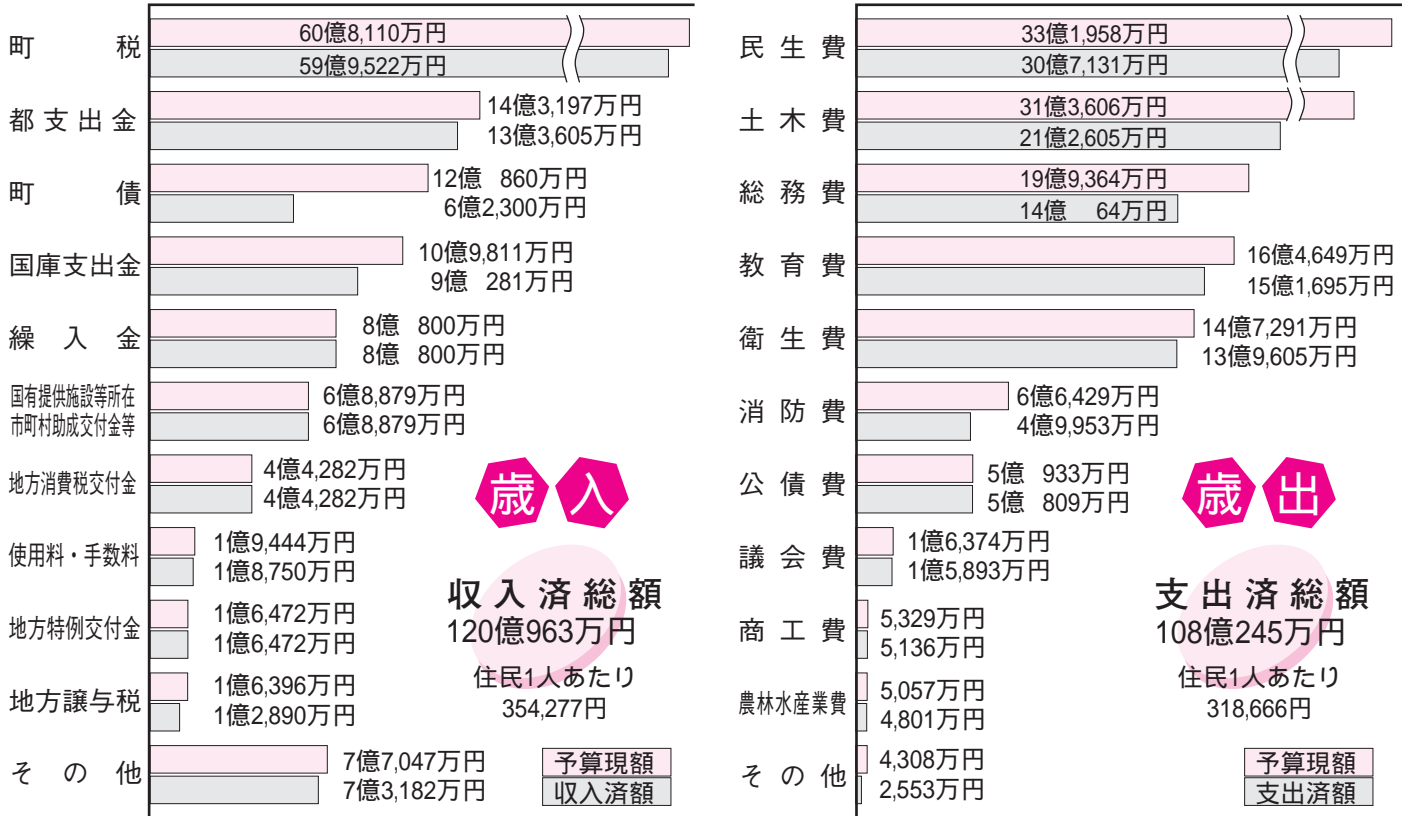
平成16年度 予算の執行状況 (平成17年3月31日現在)

一般会計

130億5,298万円

一般会計は当初予算で、133億5,660万円でスタートしました。これに5回の予算補正を行い、平成15年度からの繰越明許費も含めて現在の予算額となっています。

※繰越明許費…歳出予算経費で前年度に支出が終わらなかったもので、予算議決を経て、翌年度に繰り越して使用することができる経費



住民1人あたりの額は平成17年3月31日現在の人口(33,899人)で割った金額です。 予算現額には予備費充用額を含みます。

特別会計

特別会計名	予算現額	収入済額 (執行率%)	支出済額 (執行率%)
国民健康保険	27億2,991万円	27億 636万円 (99.1)	25億5,943万円 (93.8)
駅西区画整理事業	3億6,901万円	3億6,901万円 (100.0)	8,428万円 (22.8)
下水道事業	13億6,293万円	11億2,561万円 (82.6)	9億5,131万円 (69.8)
老人保健医療	16億9,649万円	15億9,414万円 (94.0)	15億6,701万円 (92.4)
介護保険	11億8,758万円	11億3,460万円 (95.5)	10億7,622万円 (90.6)
受託水道事業	4,563万円	4,387万円 (96.1)	3,690万円 (80.9)
特別会計合計	73億9,155万円	69億7,359万円 (94.3)	62億7,515万円 (84.9)

町債の状況



- ◆一般会計事業債 48億5,875万円
- ◆下水道事業債 37億7,321万円

町の財産



- ◆土地 45万2,297㎡
- ◆建物 8万2,025㎡
- ◆基金総額 85億8,415万円

問合せ 財政課 ☎557-7483

ひと紹介 (敬称略)

任期は、4月1日から
平成19年3月31日です。

行政連絡委員

地区	町内名	職名	氏名	地区	町内名	職名	氏名	地区	町内名	職名	氏名
殿ヶ谷	安住町	正	秦野 仁	箱根ヶ崎	東3丁目	正	未 定	元狭山	愛宕町	正	本橋 政治
		副	池和田喜一			副	未 定			副	木崎 初男
	表町	正	小峰 恒夫		中3丁目	正	上野 圭造		水保町	正	梅田 保
		副	高橋 文雄			副	野崎 宏			副	西村 隆男
仲町	正	窪田 英壽	西3丁目		正	山田 寛	二本木町		正	服部 重守	
	副	川添 辰男			副	雨宮 正明			副	田邊 新平	
中芝町	正	大久保全典	4丁目		正	村山 功一	駒形町		正	戸谷 勇	
	副	中野 好三			副	尾作 淳			副	関谷 成則	
東砂町	正	村上 嘉男	5丁目		正	飯島 健司	高根町		正	古谷 濟	
	副	村上 文男			副	関谷 勝見			副	栗原 爲一	
西砂町	正	比留間勝美	6丁目		正	山崎 俊治	富士山町		正	吉川 啓介	
	副	山田 明			副	猪俣 勝一			副	栗原 利夫	
丸町	正	岡田 耐二	7丁目	正	高橋 寿之	栗原町	正	町田 仁			
	副	鈴木 房二		副	志村 昇三		副	森田 静治			
神明町	正	吉岡 豊	8丁目	正	小川 峰義	松山町	正	安田 靖			
	副	古川 幾一		副	中村 正美		副	小俣 始			
表東町	正	吉岡一九也主	9丁目	正	池谷 昌啓	旭が丘	正	高橋 昇			
	副	吉岡 一夫		副	川島 誠		副	保坂 三郎			
表上町	正	田中 憲一	松原町	正	會田 守	さかえ町	正	高橋 正美			
	副	関谷 喜久雄		副	高水 克己		副	渋谷 俊悦			
上仲町	正	金井 福二	長岡町	正	會田 宏	富士見町	正	諸星 信次			
	副	白井 悦男		副	遠藤 光雄		副	上島 俊雄			
旭町	正	猪俣八十二	東長岡町	正	雨宮 季雄	南平町	正	宮崎 修			
	副	小林 中		副	滝島 昇		副	龍王 嘉盛			
東1丁目	正	池田 新	春日町	正	白戸 光吾	武蔵野	正	望月 隆政			
	副	田中 直志		副	小野 耕治		副	渋谷 忠彦			
西1丁目	正	西久保 重一	長岡会館	正	田中 義雄	長岡南会館	正	本橋 政治			
	副	永井 啓志		副	田中 義雄		副	本橋 政治			
2丁目	正	吉澤 徹	東長岡会館	正	清水 敏守	長岡南会館	正	市川 恵一			
	副	根本 忠		副	酒井 静江		副	市川 恵一			
2丁目	正	村野 悦次	春日会館	正	魚住 延代	元狭山会館	正	西多摩農協元狭山支店長			
	副	長澤 薫		副	市川 恵一		副	堂尾 研一			
2丁目	正	小野 昌男	春日会館	正	小野 昌男	むさしの会館	正	堂尾 研一			
	副	小野 昌男		副	小野 昌男		副	堂尾 研一			

40町内(未定1町内)
行政連絡委員(正39名、副57名)

スポーツ広場管理者

スポーツ広場名	管理者	申込先
石畑地区スポーツ広場	吉岡一九也主	鈴木 松一
4丁目グランド	飯島 健司	須賀 省三
9丁目グランド	高水 克己	後藤 一夫
元狭山スポーツ広場	安田 靖	助川 明
		小俣 始
栗原町グランド	町田 仁	町田 仁
駒形・高根スポーツ広場	戸谷 勇	原田 孝治
武蔵野コミュニティグランド	高橋 昇	乙訓 東

地区会館管理者

地区会館名	管理者	申込先
殿ヶ谷会館	秦野 仁	秦野 仁
石畑会館	田中 憲一	吉岡 春雄
石畑中央会館	金井 福二	白井 悦男
箱根ヶ崎北会館	永井 啓志	永井 啓志
箱根ヶ崎中央会館	飯島 健司	吉野 一夫
箱根ヶ崎南会館	山崎 俊治	高橋 寿之
箱根ヶ崎西会館	雨宮 正明	雨宮 正明
長岡会館	本橋 政治	本橋 政治
長岡南会館	市川 恵一	市川 恵一
元狭山会館	西多摩農協元狭山支店長	
むさしの会館	巖岩 榮一	堂尾 研一

問合せ 地域振興課 ☎557 7608

「町長への手紙」

内容を紹介します

町では「町長への手紙」を利用して、町民の皆様から、日ごろお気付きのことや、「ご意見・ご要望」を頂き、できる限り町政に反映させていくように努めています。お寄せいただいたご意見・ご要望は、その対応方法を検討し、今後の町政運営に生かしていきたいと考えています。

問合せ 情報課
☎557 7497

「町長への手紙」でよくあるご意見・ご要望に対する町の考え方を紹介します。

ホームページの
充実について



平成16年12月、ホームページのリニューアルを行い、トップページを見やすくしました。また、4月からは「広報みずほ」のPDF化も開始しました。

今後は「議会だより」のPDF化も予定しており、より多くの情報を提供できるように内容の充実に努め、誰にでも使いやすく見やすいホームページを目指します。



家庭ごみの一部有
料化・戸別収集に
ついて

平成16年10月から、家庭ごみ一部有料化・戸別収集が始まりました。収集員が習熟するまでの間は、収集時間が遅くなる等で迷惑をお掛けしました。

また、町民の皆様のご要望を取り入れ、4月から「容器包装プラスチック」の収集回数を毎週1回に増やしました。

今後、ごみに対する意識を高めていただき、ごみの減量と再資源化を促進します。

※横田基地軍民共用化、信号機・横断歩道の設置、職員の対応については、「広報みずほ」平成16年9月号に掲載しました。



不審者対策に
ついて

安全で安心して生活できるような各種団体の協力を得て、「防犯パトロール」を実施するなど、地域の目を中心とした抑止力を充実してまいります。

4月に「瑞穂町安全・安心まちづくり条例」を施行し、地域住民と共に防犯対策に努めます。また、JR箱根ヶ崎駅東口に交番が開設したことに伴い、防犯がさらに強化されると共に、不審者情報等も入手し、町の防犯に反映させます。

内容別内訳

		15年度	16年度	
	主な項目	件数	件数	主な内容（平成16年度）
1	町の施策	34	65	住所が長い(5)、ホームページの充実(4)、光ファイバー通信(4)、市町村合併問題(4)
2	交通	7	26	信号機・横断歩道設置(8)、八高線増発・複線化(5)、箱根ヶ崎駅整備(3)、交通規制
3	道路や公園の設置・整備	11	24	公園の設置(4)、緑道の整備(4)、道路の補修(3)、歩道の整備(3)
4	職員の対応	12	22	職員の接遇(11)、職員の見識(6)
5	公共施設の設置・整備	5	21	武蔵野コミュニティセンターの利用方法(7)、図書館の設置、保育園の設置
6	環境	10	13	家庭ごみ一部有料化・戸別収集(6)、ごみの出し方(2)、捨て看板対策
7	防災・防犯	3	12	不審者対策(5)、防災行政無線の運用(4)、交番の設置
8	横田基地	7	12	軍民共用化(9)、騒音問題(3)
9	その他	14	11	人権など
	合計	103	206	()内は件数です

瑞穂町

男女共同参画社会 推進委員募集



瑞穂町男女共同参画社会推進行動計画（平成17年度～19年度）を基に、男女が共に生き生きと活動できる社会を実現するための諸施策を行っています。

瑞穂町男女共同参画社会推進委員の主な役割は、定められた各施策がどのくらい進められているのかをチェックしたり、今後町が行うべき施策についての提言を出していただくことです。

○委員会の構成（予定）

住民の皆さんから募集する委員と、関係機関・団体等から選出する委員の合計8名以内

現在は、夫婦共働き家庭の増加をはじめ、女性労働者が企業の即戦力としてますます期待されていることなど、社会状況が大きく変化しています。このような状況の中で、私たちは時代にあった男女の役割を考えていかなければなりません。

町では、将来を担う子供たちの育成、子育て環境の整備、安心できる家庭介護の機能の維持、労働力人口の維持などにより、家族的責任と社会的責任を果たせる環境づくりがますます重要と考えています。

ご意見・ご提言などをお持ちの方は、ぜひご応募ください。



募集要項

募集人員 2名以内

募集期間 6月1日(水)～24日(金)

応募資格 町内在住の20歳以上の方

委員の委嘱期間 11月から2年間

会議予定回数 年に3回程度

願いの内容 瑞穂町男女共同参画社会推進行動計画の進ちょく状況のチェックと計画の推進に必要な提言・審議

報酬 1回につき5,000円

応募方法 男女共同参画社会の推進に関するあなたの考えを、原稿用紙1枚（400字以内）にまとめて提出してください。直筆・ワープロ・Eメール等どのような形でも結構です。

※提出される原稿には、住所・氏名・年齢を必ず記入してください。また、選考結果は本人に通知します。

提出先 直接お持ちいただいても、郵送でも結構です。なお、提出された原稿はお返ししません。

〒190-1292

瑞穂町箱根ヶ崎2335番地 瑞穂町役場 企画課

Eメールアドレス kikaku@town.mizuho.tokyo.jp

問合せ 企画課 ☎557-7469